サウンド・デザイン

福岡女学院大学 2020年度 前期 木曜2限 第13週

音と機能 コミュニケーション手段 としての音

機能を持った音

- 何かしらの情報がエンコードされた(埋め込まれた)音とも言える
 - メッセージ、機能を伝える:サイン音(報知音)
 - 特定の人、物、企業などのイメージ、アイデンティティを喚起 させる:サウンドロゴ、音商標
 - データそのものを音にする:**可聴化、聴覚ディスプレイ**
 - 特定の情動を喚起/抑制する:BGM

復習:聴取体験のレイヤー



文脈 Contextual

好き/嫌い 快/不快

うるさい/静か

硬い/柔らかい

@

認知 Cognitive

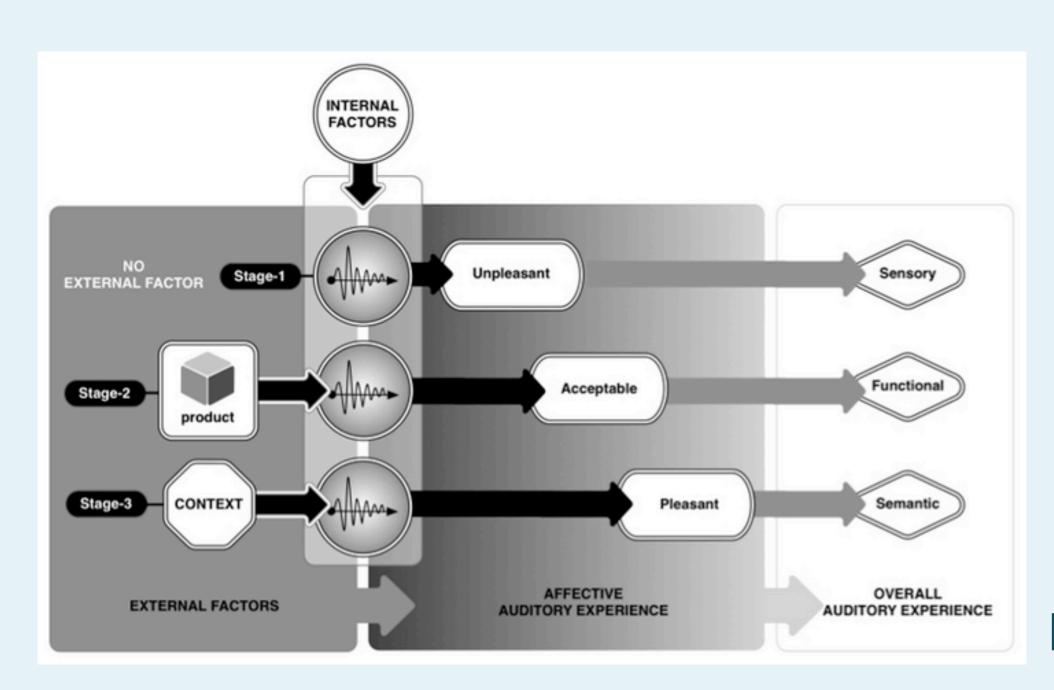
広い/狭い

生理 Sensory

物理 physical

大きい/小さい 高い/低い

復習:聴取体験のレイヤー



[1]

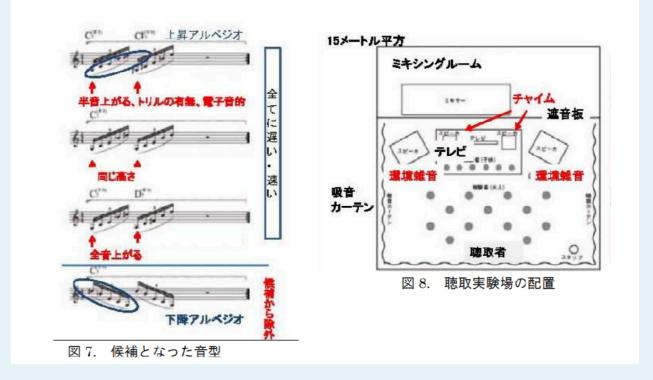
- Earcon(Ear+Icon)
 - ビープ音+メロディなど音楽的要素の組み合わせ
- Auditory Icons
 - 録音した素材を用いてメタファーでその機能を表す

緊急地震速報の音

• "作ったチャイム音は「緊急 性は感じさせるが不安感は 与えない」ということで自 信を持っていたのである が、頻繁に流れる地震警報 チャイムを聞いているうち に、チャイムから悲劇を連 想する人たちも増えてきて おり、音の持つ情緒あるい は情動に訴える力の大きさ に驚かされている。"

3.3 聴取実験による絞り込み

最終的な聴取実験は NHK 渋谷放送センターのスタジオで行った。スタジオは 15 メートル平力で壁には吸音カーテンがめぐらされ、残響をカーテンの開閉で調節できるようになっている。前面の両端に環境雑音を提示するための大型スピーカを、中央にはチャイムを提示する 2 台のスピーカを置き、さらに家庭内の環境を再現できるように中央にテレビを置いて遮音板で囲えるようにした。なお、隣接するミキシングルームには 4, 5 名の音響の操作者がいて聴取者の様子を観察した(図 8)。



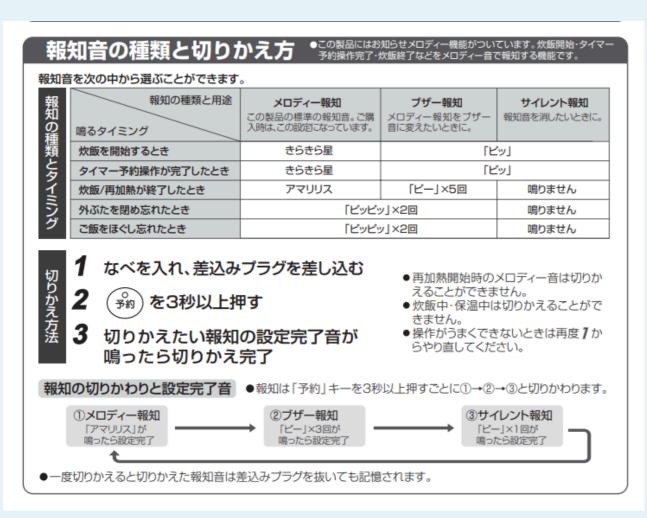
https://www.jas-audio.or.jp/jas-cms/wp-content/uploads/2013/03/004-010.pdf

ISO 19029 アクセシブルデザインー公共施設における聴覚的誘導信号

- https://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun/AD/sign.html
- 駅のピンポーンという音が昔はサイン波っぽい音だった
 - サイン波は反響すると空間定位が分かりにくくなるという特徴
- 新しくチャイム音は高次倍音を含む音にすること+スピーカー設置位置、圧縮方法などを規格として制定

• …文脈的なレイヤーの考慮はどうだろうか?

象印の炊飯器



https://www.zojirushi.co.jp/toiawase/ TR PDF/NPNF-2.pdf



https://twitter.com/AyaLV50/status/ 1196769682654552064/photo/4

• メタファーを用いない場合はある程度共通したルールが必要、リブランディングの難しさ

サウンドロゴ・音商標

- 日本では2015年から音に対して商標の出願が始まった
- 2019年で172種が登録
- インテル、大鵬薬品(正露丸)、BMWなど

すでにサイン音で見たように、意図しなくとも報知音など機能的な音が意匠的な役割を持ってしまうこともある

サウンドロゴ・音商標



http://www.jingles.com/

• 70年代のイギリスBBCのラジオジングルをほぼ全て作ったJAM Creative Production

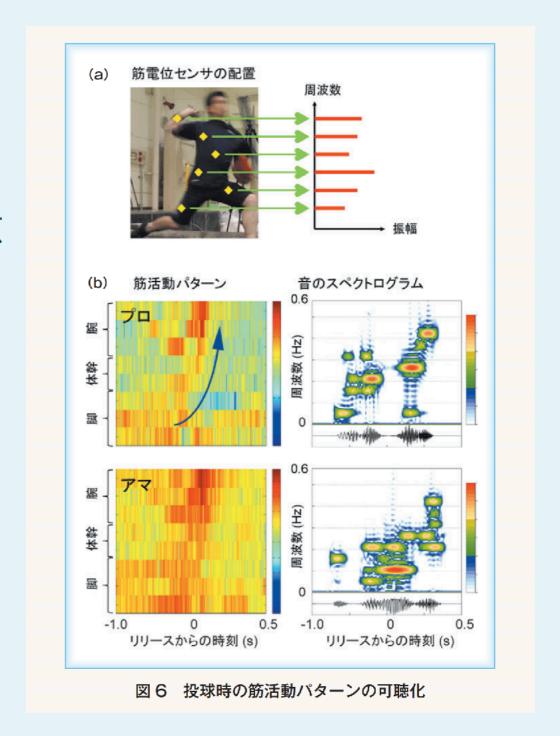
Sonification(可聴化)

- 音以外のデータ(電波/超音波とかも含む)を音に変換して出力
 - 例:ガイガーカウンター
- データを直接音声波形として出力するものをAudification、そうではなく様々なパラメーター(ピッチ、リズムなど)にマッピングするものをSonificationと呼ぶ場合もある
- データを何にマッピングするか?どんな解像度で?
 - 実はそれどんなデータでも同じ音になるんじゃね問題

Sonification(可聴化)

- 応用例:スポーツのトレーニング
- 可視化するよりも細かい動き、無意 識の動きを捉えやすいケースがある
- リアルタイムのフィードバックを活用しやすい

木村 聡貴, 持田 岳美, 井尻 哲也, 柏野 牧夫, 情報科学でスポーツパフォーマンス向上を支援する, 電子情報通信学会 通信ソサイエティマガジン, 2016-2017, 10巻, 1号, p. 23-28, 2016/06/01, Online ISSN 2186-0661, https://doi.org/10.1587/bplus.10.23

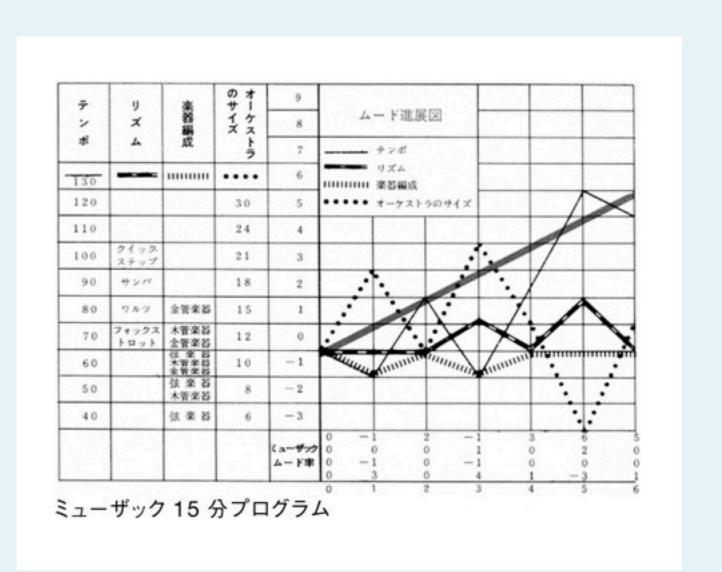


BGMとミューザック、アンビエント

- いわゆるBGMの誕生は1920~(ラジオの普及と同時期)
- テルハーモニウム(シンセサイザーの祖の一つ)はBGMビジネスの 先駆けでもあった(ただし失敗)
- Muzak社による工場での生産性を上げるための音楽
 - 英語圏ではこのMuzakという言葉が日本で言うところのBGM を指す言葉として普及するほど

BGMとミューザック、アンビエント

- ミューザックが生産性を上 げるとする根拠となった労 働疲労曲線
- 日本ではアメリカで作られ たミューザックを流しても 効果は薄く、日本の歌謡曲 などの方が効果があった
- 何が生産性を上げている?何を聴いている(いない)?



BGMとミューザック、アンビエント

Brian Enoのアンビエント・ミュージック

- AMBIENT 1: Music for Airports(1978)
- ミューザック批判も込めた、ケルンの 空港で流れることを想定して作った音楽
- 途中で停止・再開しても良い、人の会 話を阻害しないなどが意図されている
- 技法としては、長さの違うフレーズを テープで多重録音して単純なループが 生まれないようにしている

BGMとミューザック、アンビエント アンビエント以前:エリック・サティの家具の音楽

- Musique d'Ameublement: 家具の音楽
- 注意深く聞かれないために作曲された音楽
- 実際には初演で演奏されるとお客さんはサティがやめるように指摘しても席に戻って聴こうとしてしまった

extra: 人を集める・遠ざけるための音

- 今日のPA(Public Address: 公衆伝達/演説)はナチスドイツがプロパガンダ演説を行うためのシステムが発展に大きく寄与
- モスキート音:17kHzの若者にだけ聞こえる音を大音量で鳴らして 屯するのをやめさせる
- LRAD(Long Range Acoustic Device)警察などが用いる大音量の指向性スピーカー、デモや暴動の鎮圧に用いられる

まとめ/Further Topics?

- 音を設計した時に副作用のことをどれだけ考えられるか?
 - 想定された以外の人にも聞こえてしまう
- 音に対応づけたルールが慣れと共に変化していってしまう
- 空間的性質の利用はまだまだ少ない(超指向性スピーカーなど)
- 映像/ゲームでのサウンドデザインのノウハウはどこでどのくらい 活かされている/活かすことができるだろうか?

課題(期限: 8/5,7:00 am) 気に入らない音/音楽を見つけてこよう

- 1. コンピューター/携帯電話の中の機能音
 - 2. その他電化製品の報知音、機能音
 - 3. 店舗、屋外などで流れるBGM
 - の三種類のうちどれか一つを選んで、**合っていないと思う音**を探し、動画/ボイスメモなどで録音してきてください。加えて
 - ・ その音/パラメータを選定するに至ったと思われる根拠の推測
 - 合っていないと思う理由、あるいは引き起こしている副作用
 - 自分ならこうするという改善案
- の3つについて記述して下さい。

Image Credits

- [1] Elif Özcan, 'The Harley Effect: Internal and external factors that facilitate positive experiences with product sounds', Journal of Sonic Studies, 06 (2018) https://www.researchcatalogue.net/view/242114/242115/0/0 [accessed 06/05/2020]
- [2]エレベーター・ミュージック・イン・ジャパン 日本のBGMの 歴史,田中雄二,2018,DU BOOKS,ISBN 978-4866470566